



中小企業信用リスク情報データベース

一般社団法人 CRD 協会

CRD協会は、中小企業者の「財務データ」「デフォルト情報」を集積するデータベース機関です。

2001年3月に、中小企業庁の発案により、全国の信用保証協会、金融機関の協力を得て設立されました。

「我が国の中小企業等に対する資金の供給の円滑化を図ること」「金融におけるリスク管理の高度化を図ること」を基本方針※とし、集積データに基づく統計情報や、信用リスク計測モデル『CRDモデル』を軸とした各種サービスを提供しています。

※CRD協会定款 第4条(運営の基本方針)より



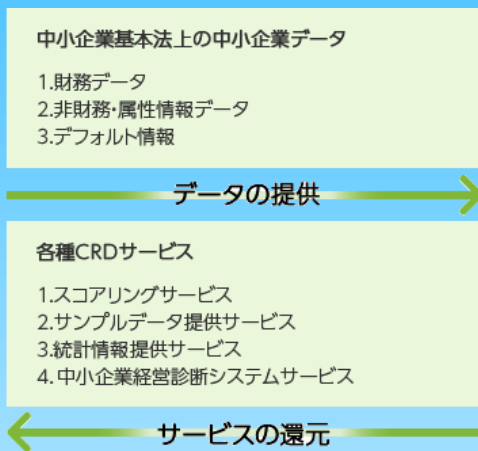
Credit Risk Database

CRDの仕組みと会員構成

- CRDには、会員として参画いただいている信用保証協会および金融機関から提供された、取引先中小企業の経営データが集積されています。
- CRD協会は、集積されたデータを用いて、CRDモデルによる経営評価情報や統計情報をはじめとする各種サービスを構築し、会員へ提供しています。

会員構成(2025年4月1日現在)	
信用保証協会	51
政府系金融機関	4
民間金融機関	93
格付機関など	17
合計	165

※信用情報提供義務を負う正会員と一部サービスの利用のみ認められた特定会員の2種類があります。



データの蓄積状況(2025年3月末現在)

データ蓄積状況(1995年決算以降) 単位:千件

	債務者数	決算書数
法人	3,157	28,866
うちデフォルトデータ	473	4,239
個人事業者	1,542	7,168
うちデフォルトデータ	218	1,111

■デフォルトの定義

1. 3ヶ月以上延滞先
2. 実質破綻先
3. 破綻先
4. 信用保証協会による代位弁済先

※要管理先・破綻懸念先、また正常先・要注意先についても、データ収集を行っています。

■データ品質向上の取組

- 蓄積前にクレンジングを実施し、的確性に劣るデータを除外
- 複数先から同一企業のデータが提供される場合に備え、主要項目をキーとした「名寄せ処理」を実施

法人業種別・地域別債務者数 (1995年決算以降)

単位:千件

	北海道 東北	関東	中部	近畿	中国 四国	九州 沖縄	総計
建設業	82	219	106	109	62	71	649
製造業	34	145	91	95	35	28	428
情報通信業	5	60	8	12	4	6	95
運輸業、郵便業	12	37	16	22	12	11	110
卸売業	31	147	55	81	25	31	370
小売業	49	122	60	64	38	43	375
不動産業、物品賃貸業	23	120	34	71	21	27	297
学術研究、専門・技術サービス業	13	73	17	25	11	15	154
宿泊業、飲食サービス業	19	65	28	26	14	17	168
生活関連サービス業、娯楽業	10	38	14	15	8	10	94
医療、福祉	14	36	16	26	12	17	121
サービス業 (他に分類されないもの)	21	97	35	44	17	22	235
その他	9	21	9	9	7	9	64
総計	321	1,179	490	599	264	304	3,157

法人売上規模別構成比

単位:%

年間売上高規模	2021	2022	2023
1億円未満	53.1	52.2	49.8
1億円以上3億円未満	24.0	24.5	25.3
3億円以上10億円未満	14.0	14.2	15.1
10億円以上	8.9	9.1	9.8
総計	100.0	100.0	100.0

小規模企業のデータの豊富さが際立っています

地域別(市区町村別単位まで※)・業種別等(中分類業種まで※)で細分化してもなお偏りの少ない豊富な情報が集積されています

※一部例外有

提供サービスの拡大

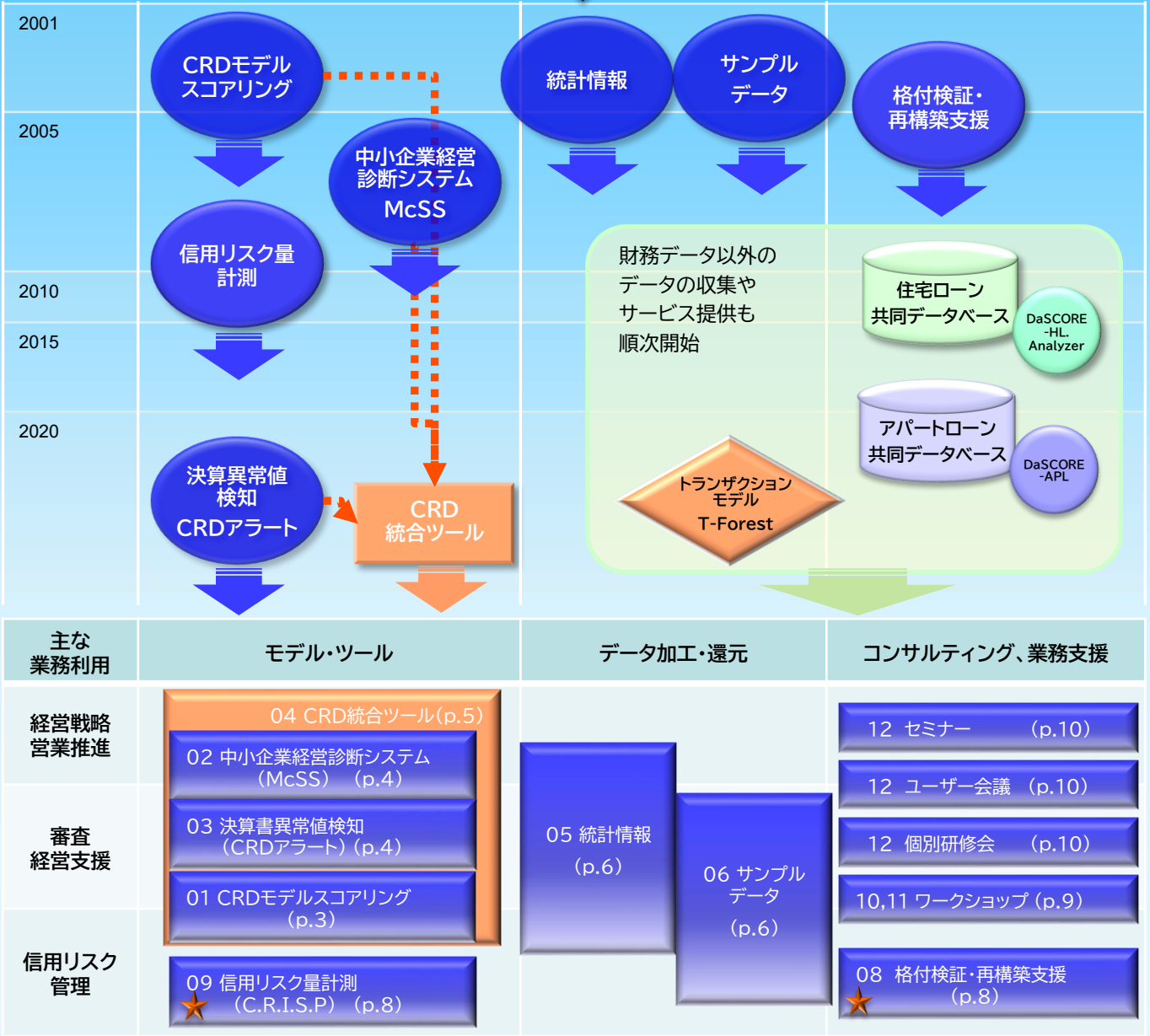
会員からの
データ提供



中小企業の財務
データベース
(CRD)

- ・ CRDデータによる**統計情報**
- ・ **CRDモデル**を利用したスコアリング
- ・ CRDデータやモデルを組み込んだツール
- ・ 提供データに対する付帯情報
(例: ローカルベンチマーク指標)

➤ 需要に応えたサービス拡大



➤ 新たなデータの収集やサービス提供

財務以外の情報を用いた、新たな共同データベース事業や、AIを活用した新モデルの開発等を行っています。

★ 10 住宅ローン
共同データベース
(住宅ローン債権データ) (p.9)

★ 11 アパートローン
共同データベース
(アパートローン債権・物件データ) (p.9)

★ 07 トランザクションモデル
(T-Forest)
(預金口座データ) (p.7)

■ 海外への展開(アジア諸国への協力)

データベース構築、スコアリングモデル構築等のノウハウに関する情報提供、意見交換などを行っています。



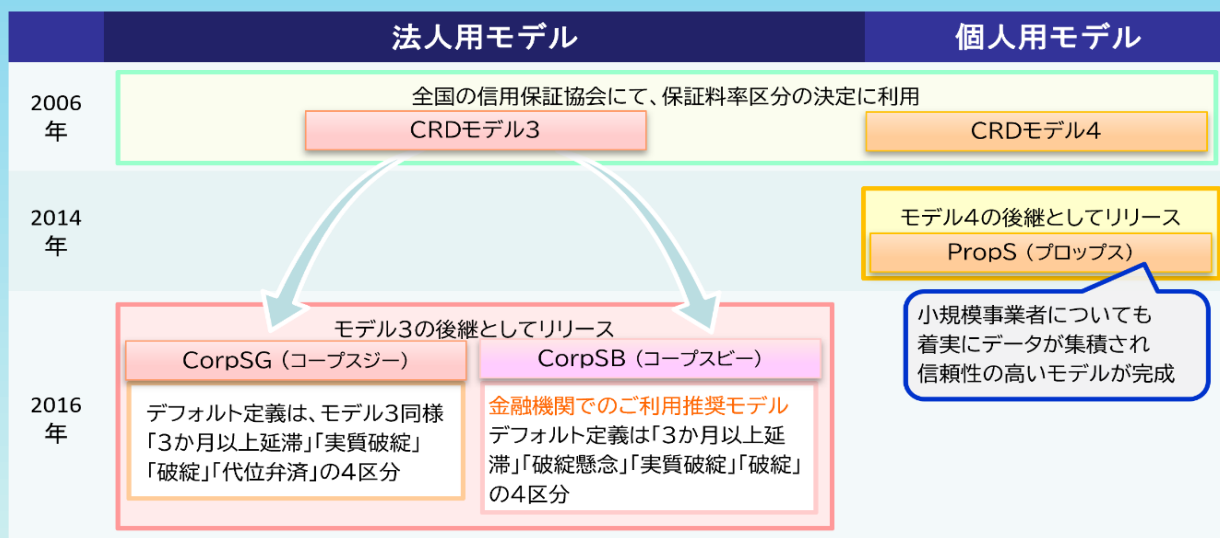
★ のサービスは別途(一部)有償の会員向けオプションサービスです。
トランザクションモデル(T-Forest)は、会費外を含む有償提供となります。

01 CRDモデルスコアリング

CRDモデルにより、事業者の信用力を数値化します

CRDモデルとは

CRDモデルは、会員から提供された財務データを基に、企業の経営状態を統計的手法により分析し、デフォルトの可能性を「評点」または「デフォルト確率」(PD/Probability of Default)として算出します。



1. 信頼性

CRDモデル3(法人用)及びモデル4(個人事業主用)は、信用保証協会の保証料率区分決定に利用されています。また、モデルの品質維持および信頼確保のため、外部に設置された組織(CRDモデル第三者評価委員会)にて、モデルの検証方法ならびに検証結果の厳正な検討・評価を毎年行っています。

2. 精度

CRDモデルは、会員から提供されたデータによるパターン学習に加え、独自の技術も駆使して開発されており、どのような財務指標の動きがデフォルトに至るかを知り尽くしています。実務において利用可能と判断される基準を大きく上回るデフォルト予測精度により、専門家からも高い評価を得ています。

3. 安定性

国内最大のデータに基づき構築されたCRDモデルは精度の安定性が高く、モデル3・4は10年以上の長期間にわたりご利用いただいています。

■サービスラインナップ

業務形態に応じ、複数パターンを組み合わせご利用いただけます

ブラウザ スコアリング	一括スコア 作成サービス	依頼スコア 作成サービス	スタンドアロン システム	スコアリング サブルーチン
会員専用WEBサイト にてスコアリングが 可能	提供データを基に スコアリング結果を 還元	依頼に基づき、決算 データに対するスコ アリング結果を還元	Windows向けの パッケージソフトを 提供	スコアリングロジック をサブルーチン (DLL)として提供
リアルタイム対応	依頼日の 翌月曜日に還元	依頼内容により 所要時間は異なる	リアルタイム対応	組み込み方式により 所要時間は異なる
インターネット環境が あれば利用可能	スコアリングのためのシステム構築は不要		手元のパソコンで すぐに利用可能	自由なシステム 構築が可能

02 中小企業経営診断システム(McSS)

*McSSは、CRD協会が保有する登録商標です。

取引先中小企業とのコミュニケーションにご活用いただける『財務診断ツール』

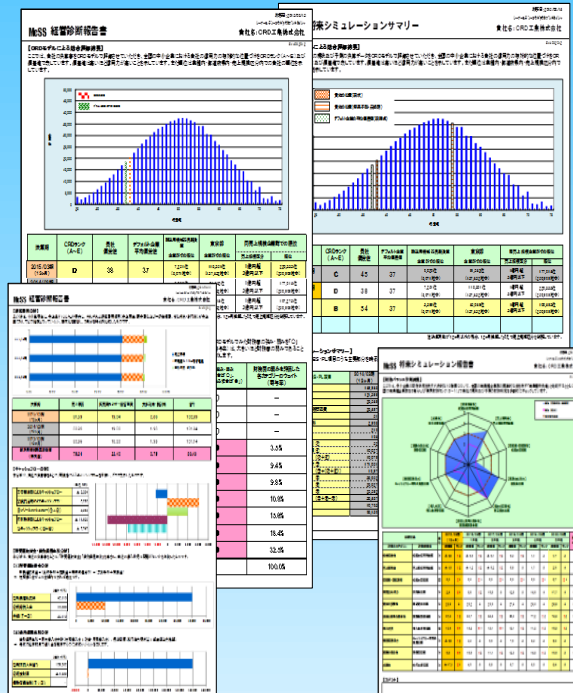
- 取引先中小企業の決算データをCRDモデル3で評価し、CRDに蓄積された全国約100万社の財務情報と比較した**信用力の『位置づけ』**と、**財務面の『強み・弱み』**を、グラフ等でわかりやすく表示します。
- 簡単な操作で、対象企業の『現状診断』と『将来シミュレーション(経営支援計画策定)』が可能です。

現状診断機能

「偏差値」と「順位」で
企業の立ち位置を表示

キャッシュフロー分析等で
経営実態を把握

財務面の「強み」「弱み」を
わかりやすく表示



将来シミュレーション機能

予実管理機能による
経営支援の進捗管理

計画の信頼性を担保する
「妥当性チェック機能」

ストレステスト機能
(1企業3シナリオ)

03 決算書異常値検知(CRDアラート)

CRDデータとの対比により法人決算書の異常値を的確に検知

- 法人の決算書について、入力内容とCRDデータとを比較し、異常な箇所がないかをチェックします。**粉飾決算の可能性**について、帳票を出力し**注意喚起**する機能です。

*帳票イメージ

(決算概況と判定結果)

(判定サマリーシート)

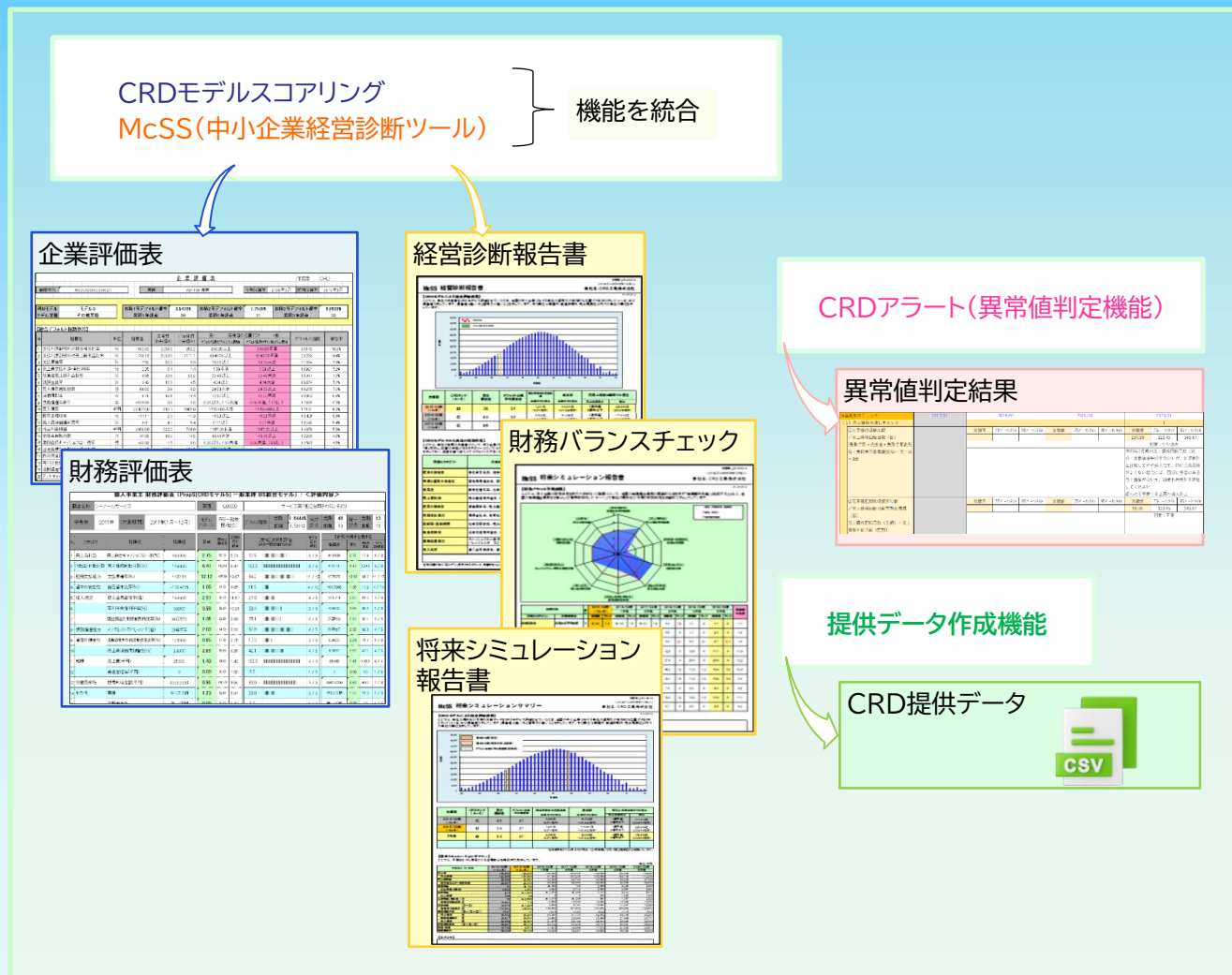
- 最大4期分の入力「決算概況」と、その中で作成できる計27のチェック指標を一覧にし、基準値と比較した各指標の過大／過小チェック結果を、コメントと共に「判定結果」として出力します。
- 付属の解説書では、判定結果を「粉飾決算の典型的なパターン」「P/L への影響」に分解し、異常値から類推される決算書の問題点をわかりやすく解説しています。
- 過大／過小な指標が「なぜそうなのか」を深掘りし、有効な事業性評価等に繋げる際に活用できます。
- 27のチェック指標の判定結果をコンパクトにまとめた「サマリーシート」も出力されます。

04 CRD統合ツール

Windows搭載のPC端末で利用いただける与信管理ツール

- CRD協会が従来提供してきた個別サービスのソフトウェアを一つに「統合」した多機能ツールです。
- 新機能を追加し、従来の個別ツール以上に機能を充実させました。
- 各ツールごとに分散していた管理、利用の手間とコストを削減し、業務の効率化を促進します。

■CRD統合ツール 機能イメージ



■機能一覧

名称	CRDモデルスコアリング (旧:スタンダード)	McSS (中小企業経営診断システム)	CRDアラート (異常値判定機能)	提供データ 作成機能
機能	CRDモデルによる 企業信用力の数値化 (スコアリング)	・CRDモデルでのスコアリング ・CRDに蓄積済の全国100万社の 財務情報と比較した財務診断	CRDデータとの比較によ り粉飾決算が疑われる異 常値に対してアラート表示	ツールに蓄積されたデータ をCRD提供データフォー マットでファイル出力
成果物	・企業評価表 ・財務評価表	・経営診断報告書 ・財務バランスチェック ・将来シミュレーション報告書 等	・異常値判定結果 ・解説書	・CRD提供データ

05 統計情報提供サービス

CRDの蓄積データから算出される、財務指標等の統計情報を還元します

■標準統計情報提供サービス

会員専用WEBサイトよりダウンロードが可能です。

実数統計データ・指標統計データ

業種・規模・地域等の標準セグメント基準の指定に基づき、
財務データの実数値・財務指標値、
全体平均値・デフォルトデータ平均値などの
各種統計データを還元します

各種統計資料

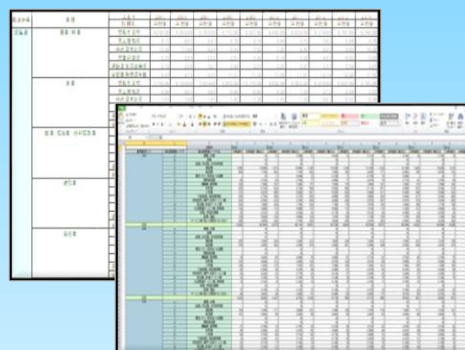
各種統計について、決算年・業種・地域等の
セグメントごと図表化した資料を提供しています

- 集計データ資料
- デフォルト実績率表
- スコア遷移分析表

■オプション統計情報提供サービス

ご要望に応じて、**標準セグメント基準外の統計情報**を還元する
サービスです。(内容により有償)

現在、地域セグメントにおいては、都道府県単位までを基本とし、
一部の統計項目は、市区町村単位までの情報提供が可能です。



06 サンプルデータ提供サービス

CRDに蓄積された決算書データおよびスコアリング結果を、サンプルデータとしてご利用いただけます

会員専用WEBサイトにて、データ抽出基準として**業種・規模・地域**等の標準セグメントの組合せをご指定いただき、**匿名加工処理されたCRD蓄積データを還元**するサービスです。 ※データ利用件数等に一部条件があります。
内部格付モデル構築時のデータ補充等にご活用いただいています。

- ・自機関のデータはサンプルデータ内には含まれません。
- ・サンプルデータのスコアリング結果もあわせて利用することができます。



07 CRDトランザクションモデル「T-Forest」

取引先の入出金データを基に、AIが信用力を評価。財務データに依存しない与信管理を実現

- 評価に他機関情報や財務データは不要、**自機関の預金口座情報**だけで充分
- **月次ベース**で預金取引のある**全取引先**に対し**高精度の信用力評価**を実施
- 業務多忙な営業店担当者の**取引先モニタリング**を強力にサポート(効率化)
- 早期発見、早期着手により**突発破綻発生の回避**をサポート(与信コスト削減)
- **新たな取引先への融資拡大**に審査モデルとして活用可能(収益拡大)

業務効率化

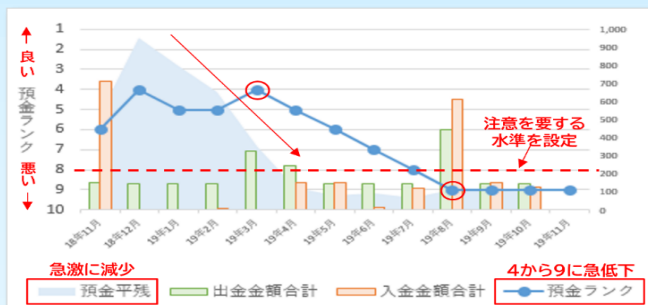
コスト削減

収益拡大

【過去半年～1年程度の流動性預金情報から、3ヵ月後・6ヵ月後・1年後のデフォルトを予測】



■期中管理用個社別帳票イメージ



T-Forestスコア(青い折れ線)のモニタリングにより**信用力低下の早期検知が可能**

- ・自機関の口座情報のみでOK
- ・非メイン口座においても高い予測精度を発揮

■モデルラインナップ

T-Forest(サービスおよびプロダクトの総称)

detail INPUT シリーズ

法人
モデル

個人事業主
モデル

アパートローン
モデル

simple INPUT シリーズ

法人
モデル

個人事業主
モデル

アパートローン
モデル

□ detail INPUTシリーズ

取引履歴(摘要コード)を10種類の項目に分類した形のデータを入力しスコアリングするモデル群。
詳細に整備された情報に基づく評価結果が得られるため、より高い精度が期待される。

□ simple INPUTシリーズ

取引履歴(摘要コード)を入金と出金の2種類に集約したデータを入力しスコアリングするモデル群。
ユーザーが実施するデータの作成の負担が軽減され、導入難易度が低い。

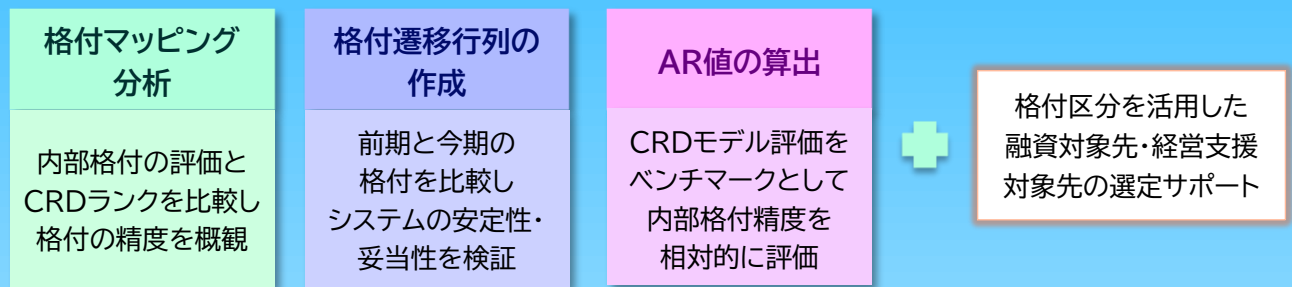
* 両シリーズとも取引先属性に応じて法人向け／個人事業主向け／アパートローン向けのモデルを用意しています。

08 内部格付制度の検証・再構築支援

CRDモデルで内部格付制度を分析し、信用リスク管理の高度化をサポートします。

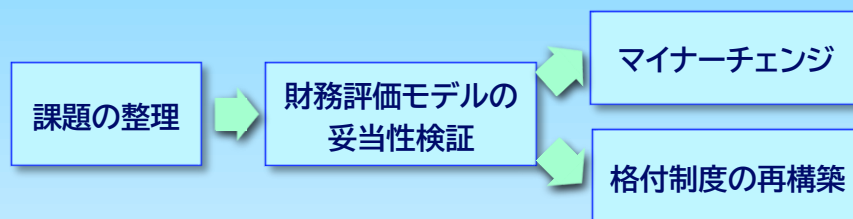
■簡易格付検証

格付制度が適正に構築・運用されていることを外部モデルの視点で検証する、独自の分析手法です。



■格付再構築

現行格付制度の体系、プロセス、モデルのそれぞれについて課題を整理し、再構築の方向性を検討します。



09 信用リスク量計測

* C.R.I.S.PIは、CRD協会が保有する登録商標です。

C.R.I.S.P(CRD信用リスク計量化システム)を用いて信用リスク量を計量化し、分析します。

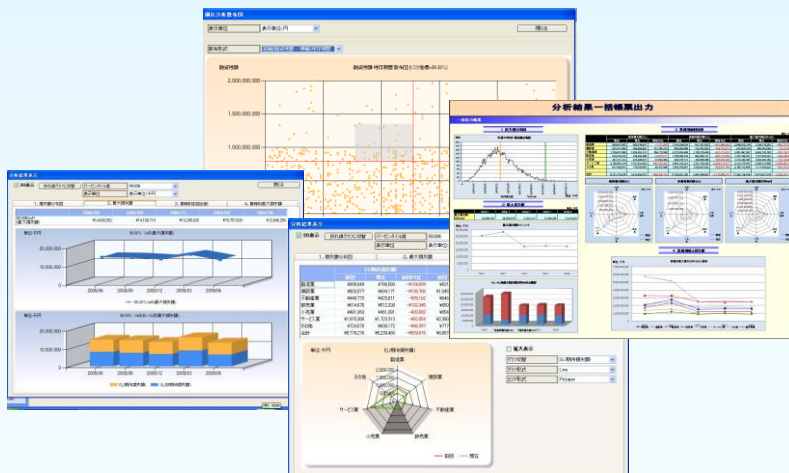
C.R.I.S.P(Credit Risk Information Superior／CRD信用リスク計量化システム)は、CRD協会と日鉄ソリューションズ株式会社が共同開発した、信用リスク計量化システムです。

※有償でのサービス提供となります

CRDのデータベースを用いて推計した業種相関パラメータが搭載されており、計測結果にデフォルト相関の影響を反映させることが可能です。

簡易なポートフォリオ分析ツールとしての機能も備えており、ポートフォリオの現状把握、個社レベルでの問題先の特定、時系列でリスク量が変化した場合の分析等が可能となっています。

■帳票イメージ



- ・ポートフォリオ全体、グループ別のみならず債務者別のリスク量についても特定が可能
- ・時系列でのリスク量推移の確認も容易
- ・1枚の集約された帳票として結果を出力

10 住宅ローン共同データベース

住宅ローンに係る共同データベースを構築。ツール、モデル、統計情報等により債権管理をサポートします。

共同DBサービス

デフォルトモデル・プリペイメントモデルの提供

- ・ 経過期間や属性によるリスク相違を捕捉
- ・ 共同DBの豊富な蓄積データを元にリスクをスコア化

DaSCORE-HL Analyzer* の提供

- ・ 時系列に沿ったデータ蓄積
- ・ 個別案件のスコアリング、リスク評価
- ・ ポートフォリオ収益性の簡易計算

CRD事務局によるデータ分析

- ・ 参加会員より提供されたデータを集約し分析
- ・ ご希望に沿った各種統計情報の還元
- ・ 当局目線を意識した、共同DBと比較した分析レポート

ワークショップの運営

(共同DBを使ったトピック分析結果の報告/会員間の意見交換等)

- ・ 金融機関同士での貴重な情報交換の場として機能

【オプションサービス】コンサルティング

- ・ 自機関の取組に応じた個別サービス

(株)クレジット・プライシング・コーポレーション(CPC)との提携による提供

- 営業推進や借換防止策検討、商品企画への活用
- 審査基準へのフィードバック
- 期中管理用モデル、審査モデルの補完
- ポートフォリオ分析・リスク管理への活用 等

共同データベースに蓄積された信頼できるデータを元に統計情報、分析結果、モデルを提供
リスク管理の高度化から営業推進まで幅広くご利用いただけるサービスです

*共同DB比較分析レポートのイメージ



ツールによる
データ蓄積・
スコアリング

豊富なデータに
基づく分析・
モデルの提供

直近の課題を
反映したデータ
分析・情報提供

*「DaSCORE-HL Analyzer」はCRD協会が提供する、住宅ローンデータ蓄積・スコアリングツールです

*「DaSCORE」は、CRD協会が保有する登録商標です。

※会員向けのオプションサービスにつき、会費外での有償提供となります。

11 アパートローン共同データベース

アパートローンに係る共同データベースを構築。ツール、ワークショップ等により債権管理をサポートします。

共同DBサービス

融資・審査業務サポート

- ・ 機関内統一基準の収支計画自動作成
- ・ 採り上げ時のDSCRやLTV等の算出

期中管理業務サポート

- ・ 期中実績の収集による予算管理
- ・ DSCRやLTV等の実績値の算出

データ整備サポート

- ・ 上記業務における入力情報の自動蓄積
- ・ 審査時及び期中実績情報の一体管理

CRD事務局によるデータ分析

- ・ 参加会員より提供されたデータを集約し分析
- ・ 各種統計情報や共同DB比較分析レポートの還元

ワークショップの運営

(共同DB分析結果の報告/会員間の意見交換等)

- ・ 金融機関同士での貴重な情報交換の場として機能

還元される各種情報の応用

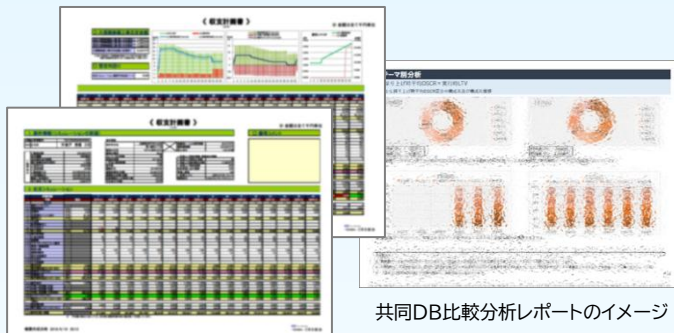
- 営業推進や商品企画への活用
- 審査目線見直しへの活用
- ポートフォリオ分析・管理への活用 等

- ・ 物件特性による差異の把握に
- ・ 自機関ポートフォリオの立ち位置の明確化に

中立機関であるCRD
協会による
共同データベース

単一機関のデータでは
困難な取組にも対応

DaSCORE-APL出力帳票のイメージ



共同DB比較分析レポートのイメージ

*「DaSCORE-APL」はCRD協会が提供する、アパートローン業務支援ツールです

*「DaSCORE」は、CRD協会が保有する登録商標です。

※会員向けのオプションサービスにつき、会費外での有償提供となります。

12 セミナー、研修会の開催

会員の業務に役立つ情報を多様な方式でご提供します。

■研修動画配信サービス

研修講義を音声動画でご提供いたします。

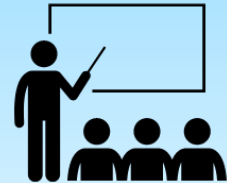
インターネット経由で当協会が提供するクラウド環境にアクセスし、動画をご覧くださいサービスです。



■集合型セミナー/ウェビナー

信用リスク管理に関するテーマを中心として時事の話題を取り上げた外部有識者・専門家による講演会や、CRDのサービスについてのCRD協会職員による説明会を開催しています。

- ・情報交換会、エグゼクティブセミナー
- ・CRDセミナー(各種サービス、導入事例等の紹介)
- ・中小企業経営診断システム(McSS)等の説明会や操作研修会 など



■個別研修会

CRD協会職員が講師となり、派遣(またはリモート)にて金融機関内部での研修会開催をサポートします。

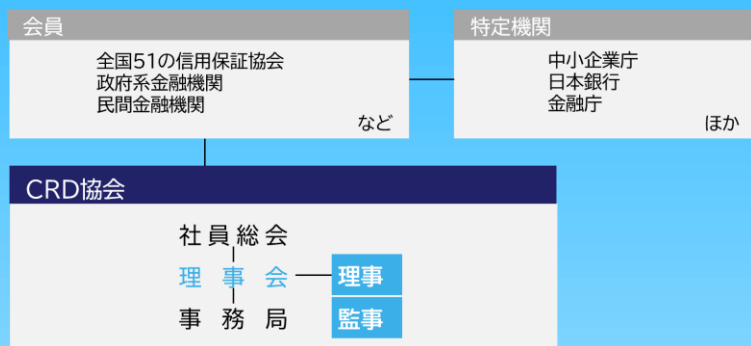
- ・研修会のテーマ(例)
 - 信用リスク管理、アパートローン管理、財務分析、
 - CRDモデル、中小企業経営診断システム(McSS)など
- ・土曜日開催等を含め、会員様のご予定に合わせて対応いたします。



セミナー会場の様子(2018年)

組織概要

組織図



組織情報

名称	一般社団法人CRD協会
設立	2005年4月
代表者	代表理事会長 柳原 良太
会員数	165 (2025年4月時点)

沿革

1999年度	全国の信用保証協会、一部の政府系・民間金融機関の支援・協力を得て「中小企業信用リスク情報データベース整備事業」を実施
2001年3月	任意団体「CRD運営協議会」が発足
2005年4月	法人格を取得し、「有限責任中間法人CRD協会」としてスタート
2009年6月	名称を「一般社団法人CRD協会」へ変更
2016年7月	「CRDビジネスサポート株式会社」を設立

アクセス



- 人形町駅(東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線)
A3出口より徒歩1分
- 水天宮前駅(東京メトロ半蔵門線)
7番出口より徒歩5分
- 浜町駅(都営地下鉄新宿線)
A1出口より徒歩6分



MAP

【主要アクセス】



CRD 中小企業信用リスク情報データベース

一般社団法人 CRD 協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目26番5号 (NX人形町ビル7階)

☎ 03-6667-1750(代表) ☎ 03-6667-1755

【窓口受付時間】平日9:00～17:15(年末年始を除く)

【ホームページ】<https://www.crd-office.net/CRD/>

【問い合わせ】ホームページ右上 **【お問い合わせ】** をご利用ください

2025年8月現在

